



for YAMAHA YZF-R25/R3
2005-2008年式

**ノーマルフロントフォークにダンピングアジャスターを後付け！
高性能カートリッジフォークへ R25 をアップグレード！**



TASC for YAMAHA YZF-R25/R3 ¥93,500 (税込) TASC R25

TASC は部品単品での販売はしておりません。TASC の組み込みには高度な技術を要するため、弊社にて組み込み作業を行います。表示価格には組み込み工賃が含まれております。

TASC 組み込み時に消耗部品の交換料金 ¥7,800 (税抜上代)

交換部品：スライドメタル、ガイドメタル、ダストシール、オイルシール (ダストシール、オイルシールは SKF)

ノーマルフォークスペック

ダンピングアジャスター 非装備	ダンパー ロッド式
--------------------	--------------

TASC フォークスペック

伸側 ダンピングアジャスター	圧側 ダンピングアジャスター	カートリッジ式 高性能積層シム
-------------------	-------------------	--------------------

TASC 内部イメージ (写真は MT-09)

ストリートからサーキットまで対応！ 至極の作動感を体感せよ！

純正フォークには減衰力調整機能がないものを使用する YZF-R25。ストローク奥でしっかり踏ん張りますが、ストローク中間域までがやわらかい状態です。ストローク量も多くブレーキング時にはストローク奥まで一気に入り、極端な前下がり姿勢になります。加速時にはフロントが立ってしまいアンダーステアが出ます。

そこで、Technix では TASC キットを YZF-R25 用に新たに開発。積層シム型バルブシステムを用い完全カートリッジ化。

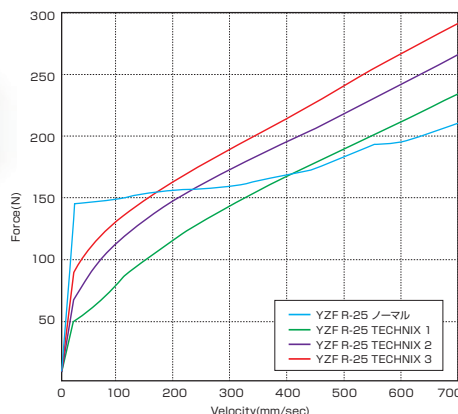
片側をコンプレッションダンパー、もう片方をリバウンドダンパーの左右独立調整式システムに大きく変更。

ダンピングにワイドな調整幅を持たすことで、ストリートからスポーツ走行まで幅広いシチュエーションで最適な特性を得ることが可能に。

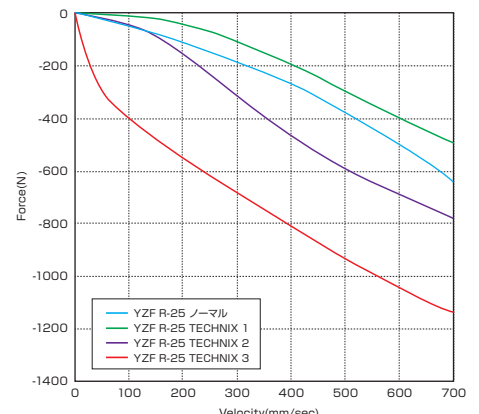


ダイノテストと実走行テストで、様々なライディングフィールドのセッティングデータをチャート化仕様を決定しています。

YZF-R25 TASC コンプレッションの比較例



YZF-R25 TASC リバウンドの比較例



ストリートセット

低速、低荷重でも乗り心地を損なわないように減衰力は弱め、小さなギャップ通過時の突き上げも確実に吸収しライダーへの不快感を大幅に軽減。フロントタイヤが路面に留まるよう伸び側減衰を若干効かせ気味にセットアップ。

ワインディングセット

積極的にバイクを旋回させるため、ブレーキを当てながらコーナにアプローチすることを前提にストリートよりも圧側減衰を掛ける。切り返して軽快に車体を操る為に、あえてリバウンドはストリートセットと同じ。ストローク中間域でも減衰を掛け安定した車体姿勢でライディングができるようセットアップ。

サーキットセット

フルバンク状態でもフロントタイヤを路面に留まらせる為にリバウンドも強めにセット。フロントタイヤにしっかりと荷重を掛け、積極的にライダーがマシンを曲げていける仕様で、サーキット走行で「攻める」走りをするライダー向けのセットアップ。レース仕様としてレートを上げた社外スプリングでもワイドな調整幅をもつ TASC なら対応可能。

弊社テストでは、リアショックを「NITRON R3 シリーズ」を装着してテストしております。車体のバランスを取るために同ショック又は同等の社外品への交換を推奨致します。同ショックを装着の場合には、各ステージごとのリアショックセットアップデータの提供も可能です。